



6月20日、牟礼福祉センター様が来所されました。歌謡、銭太鼓、南京玉簾など、楽しいひと時を過ごしました。ありがとうございます！

左は、ご利用者様と育てたひまわりです。

ご相談があれば、お気軽にご連絡下さい。(担当 吉田)

TEL 0120-128-306

第7回 生誕祭

おかげさまでデイサービスセンターふじ防府は、7月に7周年を迎えました。これまでのご支援に、深く感謝しております。つきましては日頃の感謝を込めて、感謝祭を開催します。

日程

7月7日(土) - 前日祭 のど自慢、抽選会などを実施！

7月8日(日) ゲーム、バザー、演芸などを実施！

※ ご家族の参加も大歓迎です。

※ お問い合わせは、吉田、宮内までお願いします。



▲第4回 生誕祭風景



▲第5回 生誕祭風景



▲第6回 生誕祭風景



7月のボランティア様の予定

- ・ 7/13 - さつき演芸様
- ・ 7/28 - あじさいの会様

お楽しみに！

← 色画用紙で作った、手作りのカレンダー。好評です。

ご利用者様の作品紹介

山口

H江様

悲しい話になったのは、太平洋戦争が末期に近く、当時のソ連が不可侵条約を破って、我が国へ宣戦布告をしてきたからである。

田畑へ行く途中によく話しをしたり、高い土手に咲いている山つつじを取ってきてくれたサブちゃんや農家の三男坊。私は四人姉妹の長女。両家にそれとなく結婚話が持ち上がった。いやらしいが、私を戦争未亡人にしては気の毒だから、無事に生きて帰る迄は云わずにおこうとサブちゃんが云ったという。

休暇明けのある日、海軍の水兵服をなびかせて三田尻駅へ向かうサブちゃんの姿を、知らされていなかった私が気付いた時は、後姿だけだった。「行つてらっしゃい」も「さよなら」も云えないままの別れだった。

北の海の守りについていたらと分かったのは、戦死の広報が入つてからだ。吉村昭の「機艦セズ」を何べんも読んで得るものはなかった。今年も山つつじは美しく咲いている。



生誕祭七周年の祝歌

健次様

よちよち歩きの ふじ子と太郎が
はや七才になりました

婆やと若干意固地な爺やを癒しつつ
立派な一年生になりました

これからは大学卒業を目指し
なお一層励みます

注 ふじ子 女性職員

太郎 男性職員

婆や 女性利用者

爺や 男性利用者

短歌・川柳

懐かしき人より電話

我嬉し

声伝わりて

胸おどりくる

老いて尚

いる筈なき我母に

縫りつきたい

甘えてみたい

A子様

やはらかき園児と握手

こつこつ手

あなたに贈る長寿の絆

手をつなぎ歩いた道は今はなく

故里の山緑したたる

T女様

藤の間に流るる歌声

はれやかに

我は聞き役心のみぬ

夫逝きぬ共に歩みし六十九年

我が生涯の宝となりぬ

Y様

お知らせ

■ 4月からサービス提供時間が、17時までで延長しました。プランによって、15時30分までのサービスと、17時までのサービスの2つのプランからお選びいただけます。但し、要支援の方は、15時までとなります。

■ 『ふじ』では、飲食物の持ち込み、ご利用者間の物品のやり取りを禁止しております。特に食品については、食事制限があるご利用者様おられますので、ご遠慮ください。

■ 『ふじ維新』では、皆様の作品を募集しております。短歌、川柳、絵画、手芸品、何でもかまいません。もし、新聞に掲載しても良い作品があれば、宮内か景山までご連絡ください。